

# 令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

健康子ども部スポーツ課

健康子ども部長 竹部 益世

整理No	事務事業名	3か年実施計画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己評価	評価内容	方向性	内容
22-001	社会体育振興事業	なし	D	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、スポーツ大会・教室の開催が限定的となり、スポーツに触れる機会やスポーツをする場を創出することに制限があった。</p> <p>そういった状況下ではあったものの、感染症拡大防止に最大限配慮しながら、半田市スポーツ協会をはじめとする各団体の協力のもと一部ではあるが、イベントや教室等を開催することができた。</p>	改善推進	<p>今後はwithコロナ・afterコロナの時勢を見据え、従来の方法にとらわれることなく、新しい生活様式等に沿った形でのスポーツイベント等の開催方式を柔軟に検討していく必要がある。</p> <p>また、半田市で開催される東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーイベントを機に、スポーツを身近なものとして認識してもらうことや、生涯スポーツ社会の実現に向けた第3次半田市スポーツ推進計画(令和3年度～令和12年度)に則り、障がい者スポーツの推進等の各種計画を遂行し、スポーツ実施率の向上を目指す。</p>
22-002	学校体育施設開放事業	なし	D	<p>各施設とも前年度に比べ、新型コロナウイルスの影響により利用可能回数が減少した。体育館や運動場について実績値は上がっているが、実績回数は大きく変わらなかったため、必然的に稼働率が高くなったと考えられる。夜間照明施設については例年に比べ実績回数が少なく、前年より稼働率が減少した。また、小中学校の長期休暇では平日に午前と午後の枠が増え、利用可能回数が大きく増加するが、実績回数は変わらないため、稼働率が低くなっている。</p>	改善推進	<p>長期休暇の稼働率が低い場合、長期休暇限定の利用者を募る仕組みを整備することで、稼働率の向上が期待できる。また、設備や備品の修繕を迅速に行えるよう、学校やスポーツクラブと連携を図りながら、備品の所管者を整理する。</p>
22-003	総合型地域スポーツクラブハウス管理運営事業	なし	D	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から6月中旬まで施設を閉鎖したことにより、利用者数については大幅に減少した。施設再開後も、利用規制等により通常どおりの自主事業を実施することができなかつたため、利用者数は減少傾向であった。また、施設竣工からまもなく20年を迎えるため、経年劣化や設備の耐用年数超過による修繕箇所が増えてきている。</p>	改善推進	<p>自主事業の内容については、NPO法人ソシオ成岩スポーツクラブに任せているところがあるが、会員・会員外の増加を図るため、スポーツ課とスポーツクラブの双方で地域のニーズを確認しながら、コロナ禍でも安心して参加できる事業内容を検討していく。</p> <p>また、利用者が安全・快適に利用できるよう指定管理者と連携し、長期的な修繕計画を立てる。</p>
22-015	青山記念武道館管理運営事業	なし	D	<p>施設利用者数の目標値を達成できなかった。令和2年度は緊急事態宣言等のため、4・5月に閉館し、利用者数が減少した。利用者、指定管理者、市担当者で構成する有識者会議を実施し、大道場の床改修や空調設備メンテナンスなど利用者に安心安全に使用していただけるように設備等を整備していく。</p>	改善推進	<p>固定利用者の満足度上昇、新規利用者の獲得や施設の有効活用を図るため、指定管理者と綿密に協議をするとともに、施設を整備し利用者の増加に努める。</p> <p>また、有識者会議の内容や利用者アンケートを活用し、より収益性や集客性の高い運営を実施し、市民ニーズの反映や施設の有効活用にも努める。</p>
22-017	半田運動公園改修事業	あり	B	<p>公園施設長寿命化計画(平成24年度～令和3年度)に基づき、国の交付金を活用して安全かつ快適に公園が利用できるよう整備を行っており、令和2年度については、計画通り陸上競技場の全面改修を行い目標を達成できた。スポーツ施設及び遊具の老朽化が進んでいるため、計画的かつ継続的な修繕を実施していく。</p>	改善推進	<p>利用者の安全性と利便性を確保するため、公園施設長寿命化計画に基づき、令和3年度についてはテニスコート人工芝の張替をおこなう。</p> <p>また、令和3年度で改修事業が最終年次となるので、昨年度作成した運動公園施設長寿命化計画に基づき新しい計画を作成する。</p>

整理No	事務事業名	3か 年 施 計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
22-018	福祉ふれあいプール管理運営事業	あり	D	施設利用者数の目標値を達成できなかった。令和2年度は緊急事態宣言等のため、4～6月に閉館したため利用者数が減少した。水泳教室、アクアビクス教室、シェイプアップ教室等新しく利用者を増やす自主事業の開催や、プール槽の改修工事を実施し、サービスの充実と安全・快適に施設を利用できる環境を整備した。固定の利用者を確保しつつも、新規の利用者を獲得するため、設備等を整備していく。	改善 推進	新規の利用者の獲得、市民ニーズの反映や施設の有効活用を図るため、指定管理者との担当者会議を行うと共に、各種教室、クリスマス企画、幼児プール体験等のイベントを更に充実させ、利用者の増加に努める。また、施設の老朽化による修繕を計画的に実施する。
課等長	<b>1次評価(令和2年度の総括評価)</b>					
C	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、スポーツの推進及びスポーツ施設の利用促進という点では、大きな制限がかかった。その中で、半田市スポーツ協会ははじめスポーツ関係団体の協力もあり、制限下においても、少しでもスポーツを身近に感じられるような環境づくりを行うことができた。また、3種公認競技場として継続公認を取得するため、半田運動公園陸上競技場の全面改修の実施をはじめ、青山記念武道館大道場の床改修等を実施し、利用者が引き続き安心・安全に利用できるよう施設の整備を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、年度を通してイレギュラーな対応を行うこととなったが、職員が協力し合い大きな事故・問題を抱えることなく業務を遂行することができた。</p>					
部等長	<b>2次評価(令和2年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)</b>					
C	<p>新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、withコロナそしてafterコロナを想定したスポーツ振興及びスポーツ施設利用促進を進めていくことが重要である。</p> <p>従来の手法にとらわれることなく、新しいことにチャレンジする精神を持って事業実施にあたること。</p> <p>また、東京2020オリンピック・パラリンピック聖火イベントはスポーツ人口の増加や半田市の魅力を世界に発信する千載一遇の機会である。関係者等の安全確保等に努め、事業を実施するとともに、オリンピック・パラリンピック後のレガシーを見据えた取り組みを検討すること。</p>					